

令和4年度 中期経営計画
評価シート

社会福祉法人亀山市社会福祉協議会

◆中期経営計画 令和4年度評価シート

取組み内容	実施項目	担当部署
将来ビジョンの明確化	使命・経営理念・組織運営方針の周知	総務係
	中期経営計画の策定及び進行管理	総務係
会員の拡充	会員の拡充	総務係
理事会等の運営	理事会の運営	総務係
リスク管理やコンプライアンスに対する管理体制の強化	リスク管理体制の強化	総務係
	職員参集マニュアルの見直し	全ての係
	事業継続計画（BCP）の策定	全ての係
	各団体との委託契約、覚書等の締結	総務係 地域福祉係
働きやすい職場環境の整備	業務量等の検討、改善	総務係
	有給休暇等の取得促進	総務係
	ICTの環境整備、活用	総務係
広報活動の強化	広報活動の強化	全ての係
相談支援体制の充実	相談支援体制の充実	全ての係
専門職の育成と職員のスキルアップ	目標管理に基づいた人材育成	全ての係
	資格取得の促進	総務係
人材確保に向けた取り組み	定年の引き上げや再雇用等の検討	総務係
	効果的な職員採用	総務係 福祉サービス事業係
	表彰等の実施	総務係
福祉サービス事業所の体制強化	職員の資質向上	福祉サービス事業係
	第三者評価等の受審	福祉サービス事業係
	事業継続計画（BCP）の策定（再掲）	福祉サービス事業係
	他事業所等との連携	福祉サービス事業係
財政基盤の強化	会員の拡充（再掲）	総務係
	共同募金の周知	地域福祉係
	福祉サービス事業の検証・見直し	総務係 福祉サービス事業係
	公的財源の確保	総務係
	中期経営計画の策定及び進行管理（再掲）	総務係
	効果的な資産運用	総務係
	コスト意識の醸成	総務係

令和4年度 中期経営計画 評価シート

計画体系	取組み内容	将来ビジョンの明確化				担当部署	総務係
	実施項目	使命・経営理念・組織運営方針の周知				記入者	総務係長 服部 志穂
	5年後のあるべき姿	使命・経営理念を全ての役職員が理解し、業務に取り組むことができます。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	周知					
事業概要	◆事業の評価・課題						
	<p>本会の使命・経営理念・組織運営方針について、総合保健福祉センター及び社会福祉センター内に掲示するとともに、ホームページなどで周知を図っていますが、役職員間で意識の違いがあるのが現状です。</p>						
	◆改善の方向性						
	<p>引き続き、法人全体での周知に努めるとともに、職員面談やミーティングなどをおとして、使命・経営理念・組織運営方針が身近に感じられるよう取り組んでいきます。</p>						

計画体系	取組み内容	将来ビジョンの明確化				担当部署	総務係
	実施項目	中期経営計画の策定及び進行管理				記入者	総務係長 服部 志穂
	5年後のあるべき姿	使命・経営理念を全ての役職員が理解し、業務に取り組むことができます。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	策定	進行管理				
事業概要	◆事業の評価・課題						
	<p>本会が将来にわたって安定的に事業を継続するために、令和8年度までの5年間を計画期間とする中期経営計画を策定しました。策定にあたり、職員間でプロジェクトチーム、策定委員会を設置し、すべての正規職員が参画するよう取り組みました。また計画の内容を本会ホームページで公表しました。</p>						
	◆改善の方向性						
	<p>計画の進行管理については、PDCAサイクルに基づき行うものとし、単年度ごとの進捗状況については、評価シートを作成のうえ、理事会において評価します。また計画の進捗状況についても、本会ホームページ等で公表します。</p>						

令和4年度 中期経営計画 評価シート

計画体系	取組み内容	会員の拡充				担当部署	総務係
	実施項目	会員の拡充				記入者	総務係長 服部 志穂
	5年後のあるべき姿	地域住民はもとより、多くの団体等が会員となり、地域福祉活動に参画しています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	PR					
事業概要	◆事業の評価・課題						
	毎年7月に市民に対し社会福祉活動に参加いただく一環として、会員制度を実施しています。地域福祉活動の財源として、普通会员は会費300円(一口)、特別会員は3,000円(一口)を募集しています。令和4年度は普通会员10,219口、特別会員4口で、計3,354,540円(昨年度比: △93,570円)でした。これまでから、特別会費については、積極的な募集を行っていなかったことから、亀山市社会福祉法人連絡会において、令和5年度からの募集に向けて周知を行いました。						
	◆改善の方向性						
	会員の拡充に賛同いただくため、チラシの全戸配布や福祉委員会で会員の趣旨や会費の使途の説明を行っています。引き続き様々な場面でのPRに努めていきます。						

計画体系	取組み内容	理事会等の運営				担当部署	総務係
	実施項目	理事会の運営				記入者	総務係長 服部 志穂
	5年後のあるべき姿	理事会が法人の進むべき方向性を示し、経営主体としての機能を果たしています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	研修会等の実施					
事業概要	◆事業の評価・課題						
	令和4年度は理事会を4回開催し、事業計画・予算、事業報告、決算をはじめ、諸規程の整備などの協議を行いました。特に令和4年度は、生活介護事業所なかまの部屋の閉所についてや成年後見サポート事業の受託に向け協議、検討を行いました。また、亀山市社会福祉大会でのひきこもりに対する基調講演に参加案内を行い、出席していただくことができました。						
	◆改善の方向性						
	今後も、重要な案件や経営状況についての協議を行うとともに、役員等に内部研修、外部研修などの機会を積極的に提供していきます。						

令和4年度 中期経営計画 評価シート

計画体系	取組み内容	リスク管理やコンプライアンスに対する管理体制の強化				担当部署	総務係
	実施項目	リスク管理体制等の強化				記入者	総務係長
							服部 志穂
	5年後のあるべき姿	職員がリスク管理やコンプライアンスに対する意識が高くなり、緊急時の体制が整備されています。					
期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
	総務係	体制整備 研修会等の実施					
事業概要	◆事業の評価・課題						
	リスク管理等に対し、職員の理解や意識を高める研修会等は実施できませんでした。しかし、文書管理方法が徹底されてなかったことから、システムを活用し、法人内でルール化することで文書管理体制の構築を図りました。						
	◆改善の方向性						
相談者やサービス利用契約者など多くの個人情報を管理していることから、リスク管理やコンプライアンスに対しての職員の意識を高められるような内部研修及び外部研修等を実施していきます。							

計画体系	取組み内容	リスク管理やコンプライアンスに対する管理体制の強化				担当部署	全ての係
	実施項目	職員参集マニュアルの見直し				記入者	総務係長
							服部 志穂
	5年後のあるべき姿	職員がリスク管理やコンプライアンスに対する意識が高くなり、緊急時の体制が整備されています。					
期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
	全ての係	見直し	実施				
事業概要	◆事業の評価・課題						
	災害時職員行動マニュアルに基づき、警報発令時に職員が参集するなど、緊急時の初動体制は構築されていますが、課題として災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルと整合性のとれた災害時職員行動マニュアルの見直しが必要です。						
	◆改善の方向性						
令和4年度は、災害時職員行動マニュアルの見直しができなかったことから、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの見直し及び事業継続計画(BCP)の策定を含めた検討を行います。							

令和4年度 中期経営計画 評価シート

計画体系	取組み内容	リスク管理やコンプライアンスに対する管理体制の強化				担当部署	全ての係
	実施項目	事業継続計画(BCP)の策定				記入者	総務係長
							服部 志穂
	5年後のあるべき姿	職員がリスク管理やコンプライアンスに対する意識が高くなり、緊急時の体制が整備されています。					
期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
	全ての係	策定	実施				
事業概要	◆事業の評価・課題						
	事業継続計画(BCP)の策定に向けて、亀山市社会福祉法人連絡会で研修等の取り組みを行いました。策定には至りませんでした。						
事業概要	◆改善の方向性						
	福祉サービス事業所については、令和6年度より事業継続計画(BCP)の策定が義務化されることから、災害時の職員行動マニュアル及び災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの見直しを含め、事業継続計画(BCP)の策定に取り組めます。						

計画体系	取組み内容	リスク管理やコンプライアンスに対する管理体制の強化				担当部署	総務係、地域福祉係
	実施項目	各団体との委託契約、覚書等の締結				記入者	総務係長
							服部 志穂
	5年後のあるべき姿	職員がリスク管理やコンプライアンスに対する意識が高くなり、緊急時の体制が整備されています。					
期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
	総務係 地域福祉係	見直し	実施				
事業概要	◆事業の評価・課題						
	民生委員児童委員協議会連合会、日本赤十字社三重県支部亀山市地区をはじめ、各福祉団体の事務局業務を担っています。通帳を預かり、出納業務を行っていることから、毎月会計責任者(事務局長)による残高確認等のチェックを行い、適正な事務局業務に努めていますが、各福祉団体との委託契約書や覚書による業務の明確化が図られていません。						
事業概要	◆改善の方向性						
	適正な事務局業務を行うとともに、委託契約や覚書等の締結による業務の明確化について各福祉団体と協議を行っていきます。						

令和4年度 中期経営計画 評価シート

計画体系	取組み内容	働きやすい職場環境の整備				担当部署	総務係
	実施項目	業務量等の検討、改善				記入者	総務係長 服部 志穂
	5年後のあるべき姿	業務の効率化を図り、職員がやりがいを持って働ける職場環境になっています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	検討・改善	➔				
事業概要	◆事業の評価・課題						
	<p>時間外勤務について、令和4年度は1,712時間(昨年度比:△714時間)でした。昨年度と比較して減少していますが、新型コロナウイルス感染症の影響による貸付業務等が減少したのが主な要因です。労使協定により月45時間、年間360時間以上の時間外勤務を行っている職員はいませんが、係によって時間外勤務に差があるのが現状です。衛生委員会で協議、検討を行うとともに、令和4年度から開催している職員連携ミーティングにおいて、職員間の事務の平準化を図る取り組みを行いました。</p>						
	◆改善の方向性						
	一部の職員に業務量が集中しないよう、係間で事務分担を検討するとともに、各係の所管事務の見直しなども含め総合的に検討していきます。						

計画体系	取組み内容	働きやすい職場環境の整備				担当部署	総務係
	実施項目	有給休暇等の取得促進				記入者	総務係長 服部 志穂
	5年後のあるべき姿	業務の効率化を図り、職員がやりがいを持って働ける職場環境になっています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	啓発	➔				
事業概要	◆事業の評価・課題						
	<p>有給休暇や特別休暇、育児休業等の取得促進について、各係で調整しながら職員に取得しやすい雰囲気をはかっています。令和4年度は、全職員の有給休暇の取得率が78.8%(昨年度比:68.1%)でした。</p>						
	◆改善の方向性						
	引き続き、職員が有給休暇等を取得しやすい環境づくりを心がけるとともに、衛生委員会で定期的に各職員の取得状況を把握し、取得促進に努めます。						

令和4年度 中期経営計画 評価シート

計画体系	取組み内容	働きやすい職場環境の整備				担当部署	総務係
	実施項目	ICTの環境整備、活用				記入者	総務係長
							服部 志穂
	5年後のあるべき姿	業務の効率化を図り、職員がやりがいを持って働ける職場環境になっています。					
期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
	総務係	啓発 整備・活用	→				
事業概要	◆事業の評価・課題						
	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大以降、Web会議や研修などが多くなり、本会も積極的に活用しました。また、システムを活用した文書管理体制の構築を図るとともに、職員が介護保険サービスシステム、障がい福祉サービスシステムを効果的に活用できるよう利用についての見直しなどを行いました。</p>						
事業概要	◆改善の方向性						
	<p>今後も業務の効率化を図るため、Web会議・研修をはじめ、他のシステムの活用も検討するなど積極的にICTの活用を図っていきます。</p>						

計画体系	取組み内容	広報活動の強化				担当部署	全ての係
	実施項目	広報活動の強化				記入者	地域福祉係長
							小林 英里奈
	5年後のあるべき姿	分かりやすい情報提供が行われ、多くの市民、団体等に社協の活動が理解されています。					
期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
	全ての係	検討強化	→				
事業概要	◆事業の評価・課題						
	<p>社協だより発行にあたり、内部で編集委員会を開催し、掲載記事の協議、検討を行っています。また活動情報などをすぐに発信できるようホームページ、フェイスブックを活用し情報発信に努めています。フェイスブック更新回数は118回(昨年度比:△24回)でした。また毎月1回鈴鹿VoiceFMにて「ラジオかめやま社協だより」に職員が出演し、活動紹介、相談窓口案内などを行うとともに、YouTubeにて動画配信を行いました。しかしこれらの活動が市民に対する周知や人材確保に繋がっているかの検証はできていません。</p>						
事業概要	◆改善の方向性						
	<p>引き続き、社協だよりやラジオ、SNSを活用し、多くの市民や団体が本会の情報提供を受けられるように心がけるとともに、あいあい内に設置している掲示板も活用するなどより多くの市民、団体等に社協の活動が理解されるよう努めていきます。また、他市町社協の広報活動の状況を参考にするほか、広報に関する職員研修の実施も検討していきます。</p>						

令和4年度 中期経営計画 評価シート

計画体系	取組み内容	相談支援体制の充実				担当部署	全ての係
	実施項目	相談支援体制の充実				記入者	生活支援係長
							小林 香奈
	5年後のあるべき姿	法人内で分野を超えた相談支援、情報共有の体制が確立されています。					
期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
	全ての係	検討 体制整備					
事業概要	◆事業の評価・課題						
	福祉課題が多様化・複合化する中、法人内でも各分野における相談支援事業間の連携や情報共有をスムーズに行えるよう、令和4年度より月1回、係を超えて相談支援業務充実に向けた職員連携ミーティングを実施しました。						
事業概要	◆改善の方向性						
	各分野における相談支援事業間の職員連携ミーティングを行うことで、個別ケースに対する関わり方や支援内容など理解し合える体制が整いつつあります。今後は、個別ケースだけでなく各係が持っている課題についても係を超えて検討できるよう会議のあり方について見直しを図ります。						

計画体系	取組み内容	専門職の育成と職員のスキルアップ				担当部署	全ての係
	実施項目	目標管理に基づいた人材育成				記入者	総務係長
							服部 志穂
	5年後のあるべき姿	職員一人ひとりのスキルアップが図られ、目指すべき職員像に近づいています。					
期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
	全ての係	実施					
事業概要	◆事業の評価・課題						
	人材育成計画・研修計画に基づき、各係の目標を設定し、職員面談を行いながら、各職員が係の目標に到達できるよう取り組むべき行動目標を示すとともに、職員別育成計画書に基づき、年間をととして計画的に職員の人材育成に取り組めました。また、毎年策定する研修計画に基づき、階層別研修及び専門研修を積極的に実施、受講させ、職員の資質の向上に努めました。						
事業概要	◆改善の方向性						
	人材育成計画・研修計画を策定したことで計画的に人材育成に取り組むことができます。しかし、業務が個々の職員の能力に依ることが大きいことから、引き続き、職員一人ひとりのスキルアップを図りながら、継続した人材育成に取り組んでいきます。						

令和4年度 中期経営計画 評価シート

計画体系	取組み内容	専門職の育成と職員のスキルアップ				担当部署	総務係
	実施項目	資格取得の促進				記入者	総務係長 服部 志穂
	5年後のあるべき姿	職員一人ひとりのスキルアップが図られ、目指すべき職員像に近づいています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	検討	実施				
事業概要	◆事業の評価・課題						
	<p>本会の正規及び嘱託職員のうち、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士などの国家資格取得者は78%です。職員には面談などをおして資格取得の促進に向けて、本人の意向などの聞き取りを行っています。</p>						
事業概要	◆改善の方向性						
	<p>すべての職員が資格取得に向けて、積極的に取り組めるような職場風土や体制づくり、スキルアップや資格取得の支援を行います。具体的な支援方法については、他市町社協の取り組みなどを参考にしながら進めていきます。</p>						

計画体系	取組み内容	人材確保に向けた取り組み				担当部署	総務係
	実施項目	定年の引き上げや再雇用等の検討				記入者	総務係長 服部 志穂
	5年後のあるべき姿	職員が長期に雇用され、安定的に人材が確保されています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	検討					
事業概要	◆事業の評価・課題						
	<p>近年の状況からみると、本会においても人材確保は大きな課題となっています。正規職員については、当面の間、定年を迎える職員がいないことから、今後の状況をみながら、定年の引き上げについても法人内で協議、検討していく必要があります。</p>						
事業概要	◆改善の方向性						
	<p>経験のある職員を長期に雇用することで、安定的な人材確保につなげられるよう、行政や他市町社協等の取り組みを参考にしながら定年の引上げや再雇用の仕組みを検討し、人材確保に努めていきます。</p>						

令和4年度 中期経営計画 評価シート

計画体系	取組み内容	人材確保に向けた取り組み		担当部署	総務係、福祉s事業係	
	実施項目	効果的な職員採用		記入者	総務係長 服部 志穂	
	5年後のあるべき姿	職員が長期に雇用され、安定的に人材が確保されています。				
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度
	総務係 福祉s事業係	検討・調整				
事業概要	◆事業の評価・課題					
	<p>正規職員の採用については、毎年度定期的に行っておらず、必要に応じて行っています。令和4年度は職員の離職により欠員の状態が続いていたため、採用試験を3回行いました。近年は受験者数も少ないことから希望する年代の採用ができないこともあり、人員構成に偏りがあるのが現状です。</p>					
◆改善の方向性						
<p>人材を確保するためには、正規、嘱託、非常勤職員を問わず、幅広く質の高い職員を効果的に採用する必要があります。募集に際しては、SNSの効果的な活用や新卒者の動向などを注視しながら効果的な職員採用に取り組んでいきます。</p>						

計画体系	取組み内容	人材確保に向けた取り組み		担当部署	総務係	
	実施項目	表彰等の実施		記入者	総務係長 服部 志穂	
	5年後のあるべき姿	職員が長期に雇用され、安定的に人材が確保されています。				
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度
	総務係	検討・実施				
事業概要	◆事業の評価・課題					
	<p>福利厚生の取り組みとして、福利厚生センター(ソウェルクラブ)に加入しています。現在は長期勤務者等へ表彰などは実施していません。</p>					
◆改善の方向性						
<p>職員に対する表彰(長期勤務者等)などを実施を検討し、モチベーションの向上に努めます。</p>						

令和4年度 中期経営計画 評価シート

計画体系	取組み内容	福祉サービス事業所の体制強化				担当部署	福祉s事業係
	実施項目	職員の資質向上				記入者	福祉s事業係長 歟田 聡
	5年後のあるべき姿	サービスの向上が図られ、利用者及び関係機関に信頼される事業所運営ができています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	福祉s事業係	研修・実施	➔				
事業概要	◆事業の評価・課題						
	介護保険サービス事業や障がい福祉サービス事業について、利用者に本会事業所を選んでいただけるようサービスの質の向上を図るため、内部研修や外部の専門研修を積極的に受講しました。職員間の連携・情報共有については、ヘルパーの全体会やつくしの家の職員会議をとおして行い、また、関係機関との連携については、連絡会へ積極的に参加するなど職員の資質向上に努めました。						
	◆改善の方向性						
訪問介護事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため行っていなかったヘルパーの全体会ができるようになるなど、コミュニケーションを図れる機会が増えてきています。引き続き、人材育成計画・研修計画に基づき、職員の資質向上に努めます。							

計画体系	取組み内容	福祉サービス事業所の体制強化				担当部署	福祉s事業係
	実施項目	第三者評価等の受審				記入者	福祉s事業係長 歟田 聡
	5年後のあるべき姿	サービスの向上が図られ、利用者及び関係機関に信頼される事業所運営ができています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	福祉s事業係	検討・実施	➔				
事業概要	◆事業の評価・課題						
	県が実施する第三者評価の受審までには至っていませんが、令和4年度は、福祉サービス事業係内で必要な書類の整備や保存方法について見直しを図り、管理体制を整備しました。また、事業所内で課題を抽出し協議を行えるような体制への改善を図っています。						
	◆改善の方向性						
引き続き、職員間のミーティング等を通して課題を抽出し、PDCAサイクルに基づき定期的に改善できる体制を整えていきます。また第三者評価の受審や法人内での内部監査についても検討していきます。							

令和4年度 中期経営計画 評価シート

計画体系	取組み内容	福祉サービス事業所の体制強化				担当部署	福祉s事業係
	実施項目	事業継続計画(BCP)の策定【再掲】				記入者	福祉s事業係長 歟田 聡
	5年後のあるべき姿	サービスの向上が図られ、利用者及び関係機関に信頼される事業所運営ができています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	全ての係	策定	実施				
事業概要	◆事業の評価・課題						
	事業継続計画(BCP)の策定に向けて、亀山市社会福祉法人連絡会で研修等の取り組みを行いました。策定には至りませんでした。						
事業概要	◆改善の方向性						
	福祉サービス事業所については、令和6年度より事業継続計画(BCP)の策定が義務化されることから、災害時の職員行動マニュアル及び災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの見直しを含め、事業継続計画(BCP)の策定に取り組みます。						

計画体系	取組み内容	福祉サービス事業所の体制強化				担当部署	福祉s事業係
	実施項目	他事業所等との連携				記入者	福祉s事業係長 歟田 聡
	5年後のあるべき姿	サービスの向上が図られ、利用者及び関係機関に信頼される事業所運営ができています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	福祉s事業係	実施					
事業概要	◆事業の評価・課題						
	よりよい利用者支援を目指し、介護保険サービス事業所や障がい福祉サービス事業所と連携・情報交換を行っています。また、鈴鹿亀山圏域における相談支援事業所担当者連絡会や、くらしを支える事業所担当者会議、訪問介護事業所連絡会など他事業所とのつながりが持てるような機会にも積極的に参加し、情報収集に努めました。						
事業概要	◆改善の方向性						
	他事業所や関係機関と連携を図れるよう積極的に連絡会等に参加し、情報交換などを行いながら、サービスの向上に努め、利用者及び関係機関から信頼される事業所を目指していきます。						

令和4年度 中期経営計画 評価シート

計画体系	取組み内容	財政基盤の強化				担当部署	総務係
	実施項目	会員の拡充【再掲】				記入者	総務係長 服部 志穂
	5年後のあるべき姿	利用者や地域の方々、行政及び関係機関等から信頼され、安定した法人経営が行われています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	PR					
事業概要	◆事業の評価・課題						
	毎年7月に市民に対し社会福祉活動に参加いただく一環として、会員制度を実施しています。地域福祉活動の財源として、普通会员は会費300円(一口)、特別会員は3,000円(一口)を募集しています。令和4年度は普通会员10,219口、特別会員4口で、計3,354,540円(昨年度:△93,570円)でした。これまでから、特別会費については、積極的な募集を行っていなかったことから、亀山市社会福祉法人連絡会において、令和5年度からの募集に向けて周知を行いました。						
	◆改善の方向性						
	会員の拡充に賛同いただくため、チラシの全戸配布や福祉委員会で会員の趣旨や会費の用途の説明を行っています。引き続き様々な場面でのPRに努めていきます。						

計画体系	取組み内容	財政基盤の強化				担当部署	地域福祉係
	実施項目	共同募金の周知				記入者	地域福祉係長 小林 英里奈
	5年後のあるべき姿	利用者や地域の方々、行政及び関係機関等から信頼され、安定した法人経営が行われています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	地域福祉係	PR					
事業概要	◆事業の評価・課題						
	共同募金は地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を支援する仕組みとして全国的に展開されています。本会も毎年交付を受けており、主に福祉教育推進事業における市内小・中・高等学校、保育園、幼稚園、認定こども園への助成や福祉団体への二次配分助成事業、低所得世帯等への見舞金などに充当しています。しかし、課題として、亀山市共同募金委員会と連携した積極的なPRが行えていないのが現状です。						
	◆改善の方向性						
	三重県共同募金会、亀山市共同募金委員会と協議、連携しながら、共同募金が地域に根付いていくよう地域住民、関係団体、企業などに対し、積極的に働きかけていきます。						

令和4年度 中期経営計画 評価シート

計画体系	取組み内容	財政基盤の強化				担当部署	総務係、福祉s事業係
	実施項目	福祉サービス事業の検証、見直し				記入者	福祉s事業係長 歙田 聡
	5年後のあるべき姿	利用者や地域の方々、行政及び関係機関等から信頼され、安定した法人経営が行われています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係 福祉s事業係	検証 見直し					
事業概要	◆事業の評価・課題						
	福祉サービス事業所の収支状況について令和4年度は、訪問介護事業所で約58万円のプラス収支差額、障害福祉サービス事業所で約17万円のマイナス収支差額であり、福祉サービス事業についてはマイナス収支差額が解消されました。懸案事項であった、生活介護事業所なかまの部屋の運営については、運営委員会、理事会等で協議、検討を行い、事業体制の見直しを図り、令和4年度末で閉所することとしました。						
事業概要	◆改善の方向性						
	障害福祉サービス事業については、なかまの部屋の閉所に伴い、令和5年度以降の収支状況は改善する見込みです。引き続き、三役会等で福祉サービス事業について経営状況の分析を行い、今後も安定した事業運営を行っていきます。						

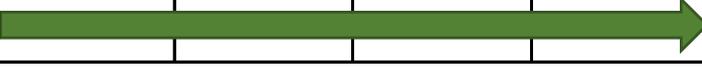
計画体系	取組み内容	財政基盤の強化				担当部署	総務係
	実施項目	公的財源の確保				記入者	総務係長 服部 志穂
	5年後のあるべき姿	利用者や地域の方々、行政及び関係機関等から信頼され、安定した法人経営が行われています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	事業評価 財源確保					
事業概要	◆事業の評価・課題						
	亀山市、鈴鹿亀山地区広域連合、三重県社会福祉協議会等からの補助金、委託金については、収入全体の約65%(令和4年度決算)を占めており、重要な財源となっています。特に亀山市からの補助金、委託金については、毎年理解を得られており、財源だけでなく事業の連携からみても良好な関係が築けています。						
事業概要	◆改善の方向性						
	引き続き、安定的な財源の確保に向けて、適正かつ公正な支出管理を行うとともに、事業評価を行い、行政等から信頼を得られるよう事業推進に努めていきます。						

令和4年度 中期経営計画 評価シート

計画体系	取組み内容	財政基盤の強化				担当部署	総務係
	実施項目	中期経営計画の策定及び進行管理【再掲】				記入者	総務係長 服部 志穂
	5年後のあるべき姿	利用者や地域の方々、行政及び関係機関等から信頼され、安定した法人経営が行われています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	策定	進行管理				
事業概要	◆事業の評価・課題						
	<p>本会が将来にわたって安定的に事業を継続するために、令和8年度までの5年間を計画期間とする中期経営計画を策定しました。策定にあたり、職員間でプロジェクトチーム、策定委員会を設置し、すべての正規職員が参画するよう取り組みました。また計画の内容を本会ホームページで公表しました。</p>						
◆改善の方向性							
<p>計画の進行管理については、PDCAサイクルに基づき行うものとし、単年度ごとの進捗状況については、評価シートを作成のうえ、理事会において評価します。また計画の進捗状況についても、本会ホームページ等で公表します。</p>							

計画体系	取組み内容	財政基盤の強化				担当部署	総務係
	実施項目	効果的な資産運用				記入者	総務係長 服部 志穂
	5年後のあるべき姿	利用者や地域の方々、行政及び関係機関等から信頼され、安定した法人経営が行われています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	規程整備	運用				
事業概要	◆事業の評価・課題						
	<p>本会では現在、福祉ボランティア基金、財政調整積立金、社会福祉センター修繕積立金、退職給与積立金を所有しており、すべて定期預金で運用しています。しかし、定期預金の利率が低いいため資産運用には至っていません。また、資産運用に関する規程の整備ができていないのが現状です。</p>						
◆改善の方向性							
<p>それぞれの基金、積立金の目的や用途について、協議、検討するとともに令和4年度できなかった資産運用に関する規程の整備を行い、効果的な資産運用に努めていきます。</p>							

令和4年度 中期経営計画 評価シート

計画体系	取組み内容	財政基盤の強化				担当部署	総務係
	実施項目	コスト意識の醸成				記入者	総務係長 服部 志穂
	5年後のあるべき姿	利用者や地域の方々、行政及び関係機関等から信頼され、安定した法人経営が行われています。					
	期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	研修会等の実施					
事業概要	◆事業の評価・課題						
	<p>民間団体として継続して安定的な経営が求められていますが、行政等からの補助金、委託金が収入の大きな部分を占めているため、経営に対する職員の意識は高くはありません。職員がコスト意識を持てるような取り組みとして、令和4年度は文書管理体制の整備を行いました。今後も法人内で様々な取り組みを通してコスト意識を高めていく必要があります。</p>						
	◆改善の方向性						
<p>職員一人のコスト意識を高める取り組みとして、令和5年度は備品管理体制の整備を行います。また、職員が会計の仕組みや予算編成などの理解が深まるよう、経営に対する意識を高めるための研修会などを検討していきます。</p>							